

安全管理システムの実施には、経営トップの支持が必要

こちらは、英文記事「[Safety management systems require support from top management](#)」（2020年3月10日付）の和訳です。



経営トップが、方針や手順書にサインしただけでは、安全に対してコミットしたことにはなりません。

船の安全管理システムを支持する

安全管理システムの有効性は、作業を行う者（すなわち船員）が自発的に参加するかどうかにかかっています。会社の方針や手順がいくら適切に記載されていても、経営トップのコミットメントが十分に見えないと、船員や陸上スタッフは本腰を入れて取り組まない可能性があります。例えば、会社の品質、健康、安全、環境（QHSE）方針には、「船員の安全と環境の保護が最優先事項である」と記載されていることが多いでしょう。しかし、商業的な圧力に直面した場合に、経営トップがその方針からの逸脱を奨励するようなことがあるかもしれません。こうした逸脱が期待されるたびに、船員は不信感を抱くようになり、その組織のリーダーシップの権威も損なわれます。こうしたことが続くと、たとえ方針が遵守されたとしても、安全管理システムに対する信頼の喪失につながるかもしれません。

また、実際に作業を実施する者に諮らずに船上の作業手順を作成しても、船員らはそれに関心を示さないでしょう。手順が遵守されるか否かは、その手順の実用性に対する船員の認識に大きく依存します。実用的でない認識された手順は、遵守されない可能性が高くなり、監査や検査で手順が回避されていることを毎回指摘されるような状況になるかもしれません。

「人に説くことは自分でも実行せよ」

安全管理システムの遵守を促し、それによって事故発生の可能性を低減させるためには、経営トップが自社の安全衛生管理システムにコミットしていることを示すことができるように、適切な態度をとって、船員を動機付けする必要があります。姿勢が、安全管理システムの遵守に関する問題への対応を積極的なものにするか消極的なものにするかを左右し、動機付けが、船員が遵守するかどうかに影響します。コミットメントは、相手に伝えたことを確実に実行することで示すことができます。こうした姿勢が経営トップから示されると、安全はより意味のあるものとなり、事故の発生確率を下げるカスケード効果もたらされます。

ISM コードの前文には、「優れた安全管理の基礎はトップのコミットメントから始まる」と記載されています。「人に説くことは自分でも実行せよ」は、フリートマネージャー、取締役、そして会社の CEO が守らなければならない信条です。

その他の参考情報

損失防止ポスター [Effective safety management system \(効果的な安全管理体制\)](#)

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gard は本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。

本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されております。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。